

1 単元名 「地いきで受けつがれてきたもの」

2 単元の目標

- 地域に残る行事や文化財には住んでいる人たちの願いや努力があつて現在まで受け継がれてきたことを理解し、得た知識を絵や図、文章でまとめることができる。(知識及び技能)
- 行事や文化財の起こりや人々の努力について調べ、次の世代に残していくために自分たちにできることを考えたり、まとめたことを伝えたりすることができる。(思考力・判断力・表現力等)
- 自分たちが住んでいる地域には素晴らしい文化財が残っていることに誇りをもち、意欲的に調べ活動に取り組んだり、調べたことをまとめたりすることができる。(主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、大牟田市で受け継がれてきた文化財を教材に取り上げる。

大牟田市の大蛇山祭りについて調べたり、世界文化遺産に登録された三つの施設について調べたりする活動を通して大牟田の文化財に興味を持ち、活動への意欲を高めることができる。また、自分たちが住んでいる地域には大蛇山祭り以外にも昔から受け継がれてきたものがあることを知ったり、それについて調べたりする活動を通して、文化財を守るために多くの人に関わっていることに気づくことができる。そして、地域の人たちの活動を知り、自分たちにできる取り組みについて考えることができる。

このようにこの活動を通して、大牟田市には世界に誇れる文化財があることや人々の願いによって受け継がれてきている行事があることを知り、自分たちが住んでいる町に誇りをもつことができるようになるよさがある。

(2) 児童観

本学級の児童は、国語科「世界にはほこる和紙 伝統工芸のよさを伝えよう」の学習において、福岡県や大牟田市の伝統工芸について百科事典やインターネットを使って調べ、リーフレットにまとめる活動をしている。そして、福岡県や大牟田市には昔から受け継がれてきたものが数多くあることを理解している。この学習を通して、百科事典を使って調べる方法を理解したり、インターネットなどを使って知りたい情報を調べたり、調べたことをもとに文の組み立てを考えてリーフレットにまとめたりすることができた。子どもたちは自分たちで調べる活動に意欲的に取り組んでいる。

周りを見て行動していくことができるようになったり、自分たちで決めたことをやりとげようとしたりする姿が見られるこの期に本題材を取り上げる意義は大きい。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、大牟田市の年中行事の一つである「大蛇山祭り」について、

自分たちが知っていることを出し合い、その中で疑問に思ったことや詳しく知りたいことを整理して本やインターネットを使って調べる。そして、調べたことを共有して、気づいたことを話し合うことで、多くの人に関わっていることに気づかせる。

次に、大牟田市には世界に誇れる文化財があり、世界文化遺産に登録された三つの施設について詳しく調べる。これらの施設が「明治日本産業革命遺産」の中に含まれていて、大牟田市で三つ登録されたことに誇りをもてるようにする。また、120年前に立てられた施設が今も当時の姿のまま残っている理由について考えさせ、保存してきた人たちの努力を知る。その後、大蛇山祭りや三つの施設以外に大牟田市に残っている行事や文化財がないか予想し調べる。

そして、これらの行事や文化財が今でも残っている理由について考えさせ、ボランティアの人や地域の人たちの努力や思いを知り、多くの人に関わり合って守られてきていることに気づく。また、これからも、行事や文化財を次の世代に残していくために、自分たちにできることを考える。

(4) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

多様性…自分たちが知っている大蛇山祭りや三つの世界文化遺産だけでなく、大牟田市には多くの行事や文化財が残っていること。

有限性…たくさんの行事や文化財は守って受け継いでいく人がいないと、途絶えてしまう可能性があること。

連携性…大牟田市に住んでいる人たちが協力しあっているからこそ、行事や文化財が今でも守られていること。

責任性…今も残っている行事や文化財を、今守っている人々から受け継いで、次の世代まで残していくためにできることを探すこと。

・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

未来を予想して計画を立てる力

本やインターネットで調べたことや GT の話をもとに、大牟田市に残っている行事や文化財を次の世代まで残していくためにできることを考える。

コミュニケーション力

自分の考えを伝えたり、発信する方法を話し合ったりしながら、自分の考えをつくりあげる。

進んで参加する態度

自分たちが調べてきた地域の行事に参加しようとしたり、文化財を見に行ったりしようとする。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

【世代間の公正】

今まで行事や文化財などの伝統を守ってきた人たちに感謝し、自分たちが未来へつないでいくことが大切である。

【幸福感を大切にする】

自分の町に伝統的な行事や文化財が残っている素晴らしさを実感する。

・達成が期待される SDG s

1 1 住み続けられるまちづくり

4 単元の評価規準

(ア)知識及び技能	(イ)思考力・判断力・表現力等	(ウ)主体的に学習に取り組む態度
① 行事や伝統文化には保存や継承に取り組んでいる地域の人たちの努力が見られることについて理解している。 ② 考えたり、調べたりして得た知識を絵や言葉などでまとめる技能を身につける。	① 行事や文化財がいつ頃、どのような理由で始まったのか調べたり、保存していくために人々がしている努力や取り組みを表現したりすることができる。 ② 行事や文化財を守るために、地域の人たちがしている努力について調べ、自分たちにできることを考えて表現している。	① 地域の一員として今残っている行事や文化財を守っていくためにできることを考え表現しようとしている。 ② 多くの行事や文化財が今でも残っていることに誇りをもって、自分にできることを考え発信しようとしている。

5 単元の指導計画（全 11 時間）

学習活動	○学習への支援	○評価・備考
1 年中行事の一つである大蛇山祭りについて自分たちが知っていることを出し合い、疑問点を共有する。 ・水の神様であり、毎年7月に行われる。 →大蛇のもとになったものは何かな。 お祭りはいつから始まったのかな。 2 大蛇山祭りについて疑問に思ったことを調べる。 ・350年以上の歴史があるといわれている。 ・祇園祭と三池地区の龍神信仰が融合して今の形になった。	○ 大蛇山祭りの写真を提示し、写真を見て気づいたことや自分たちが知っていることを伝え合い、毎年行われているけれど詳しく知らないことに気づかせ、大牟田市に残っている行事や文化財について調べる意欲がもてるようにする。 ○ 本やタブレットを使って、疑問に思ったことを調べさせる。	イ① (思判表)
3 世界文化遺産になった三つの施設について調べる。 ○三池炭鉱宮原坑 ・石炭を掘るためにおよそ120年前につくられた。 ○三池炭鉱専用鉄道敷跡 ・宮原坑などで掘られた石炭を工場や三池港まで運ぶためにつくられた。 ○三池港 ・石炭を船に乗せて運び出すためにつくられた。	○ 大蛇山祭り以外に大牟田市にはどのような文化財があるのか考えさせ、世界文化遺産になった三つの施設について知っていることを出し合ったり調べたりさせる。 ○ 120年前につくられた施設がずっと残っていた理由について考えさせ、守ってきた人々の努力を知る。	イ① (思判表) ア①② (知・技)
4 これらの行事や文化財をずっと守り続けるために、地域の人はどういうことをしているのか考える。 ・ボランティアの人や地域の人が協力して守っている。	○ 教科書を読んだり、GTを招いたりして地域の人々の思いを知る。	イ② (思判表)
5 大蛇山祭りや三つの世界文化遺産以外に大牟田市に残っている行事や文化財がないか調べる。 ・萩ノ尾古墳 ・白かぶり ・三井港倶楽部 ・がたいね踊り など	○ 国語科の単元と関連させ、絵や図、文章でまとめさせる。 ○ いつできたのか、いつ始まったのか分かるものは年表に表し、大牟田の歴史がどのように受け継がれてきたのか知る。	ア② (知・技)
6 大牟田市に残っている行事や文化財を残していくために、自分たちにできることを考える。 ・行ったことがない施設に行ってみる。 ・調べたことをまとめて発表する。	○ これから自分たちが取り組めることを中心に考えさせ、誰かに発信する場合は発信する方法を考えさせる。	イ② (思判表) ウ①② (主体的)